

壮瞥町商工会内の経済・需要動向調査

# 報告書

平成29年1月20日

株式会社 GB 産業化設計

# 調査実施概要

## ■調査目的

### 地域の売上機会の創出検討

通行客の移動・消費実態を踏まえ、壮瞥町商工会管内での消費額の試算を行い、庁内事業者の売上機会や潜在的な売上規模を想定する。

- (1) 移動・消費のパターン検討
- (2) パターン別の事業機会と潜在売上規模の検討
- (3) 売上向上に資する対策・課題の洗い出し。

## ■実施概要

第1回目時：平成28年8月6日（土）9:00～16:00

第2回目時：平成28年10月8日（土）9:00～16:00

場所：そうべつ情報館 i , フォーレスト 276 大滝

		そうべつ情報館 i	大滝フォーレスト 276	総数
立寄車両調査数	8月	292台	327台	292台
	10月	385台	272台	564台
ヒアリング数	8月	171名	115名	286名
	10月	282名	122名	404名
調査員数	8月	7名+高校生5名	7名	19名
	10月	6名+高校生3名	7名	16名

## ■調査内容

・立寄車両調査（入口調査）：時間帯別到着台数\_\_午前 10:00、昼 12:00、午後 15:00 ※各 1 時間

ナンバープレートからの情報収集（地域区分、道外区分、レンタカー、バイク）

・ヒアリング調査（出口調査）：道の駅利用者へのヒアリング

ヒアリング内容→ルート確認、来町者属性、道の駅の目的・満足度、認識調査

・ヒアリング協力者への試飲提供

→利用者への認知を確認しながら、販促・宣伝を同時に実施。

壮瞥：りんごジュース・大滝：アロニアジュース

## 8/6 調査結果概要

・道の駅別の主要設問ごとの回答傾向は以下のとおり。

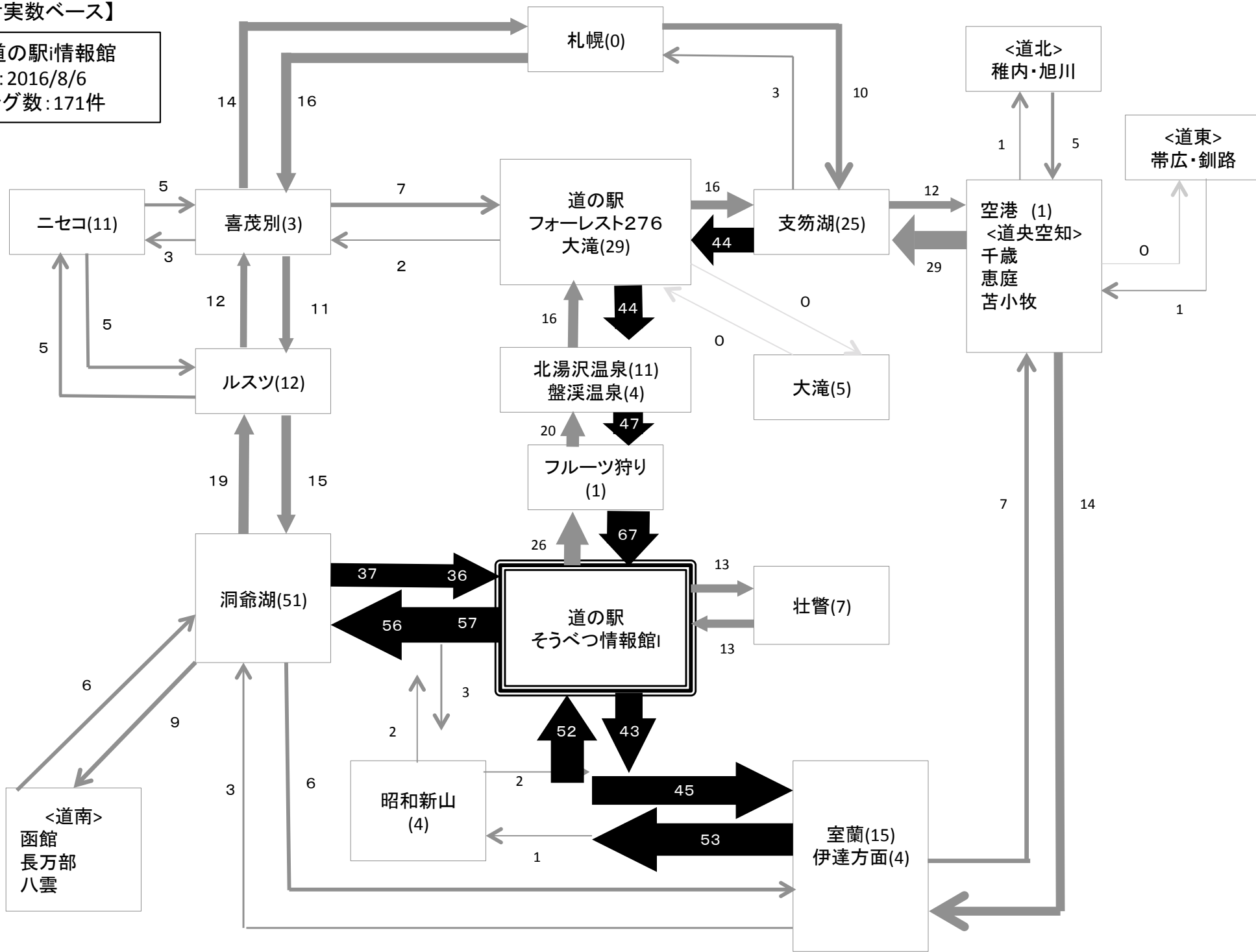
	壮瞥	大滝
ルート	①室蘭・伊達方面⇄道の駅 ②洞爺湖⇄道の駅 ③支笏湖→フォーレスト→道の駅	①千歳方面→道の駅→喜茂別
出発地	①登別 ②札幌 ③室蘭	①札幌 ②苫小牧 ※以下広域にわたる
到着地	①札幌 ②室蘭 ③洞爺湖、登別	①札幌 ②洞爺 ③ニセコ
目的地	①洞爺湖 ②道の駅 ③壮瞥	①洞爺湖、ニセコ ②北湯沢 ※以下広域にわたる
目的内容	①買い物 ②ドライブ ③観光	①ドライブ、観光
回数	①5回目以上 ②1回目	①5回目以上 ②1回目
立寄目的	①その他（野菜購入） ②トイレ休憩 ③お土産購入	①トイレ休憩（65%）
購入物	①直売野菜（72%）	①ランチ ②お土産 ③小腹が空いた
支払金額	①2,000円以上 ②1,000～2,000円 ③500～1,000円	①0円（70%）
在住場所	①札幌 ②室蘭 ③道外	①札幌 ②道外 ※以下広域にわたる
入口調査	・室蘭が多く、次いで札幌 ・時間帯による差は見受けられず ・左折・右折もそこまで差が出ず	・札幌→バイクの順に多い ・昼にややピークあり ・左折が圧倒的に多い

販売等希望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産物、特産品、関係ないものを置かない、地元のものだけ</li> <li>・梅、規格外野菜、とうもろこし（やき・ゆで・生）、梅漬け</li> <li>・リンゴ（1年中）、カットフルーツ、イチゴ、メロン、果物を充実してほしい、果物（冷蔵できない）</li> <li>・スイーツ、ソフトクリームの種類を増やしてほしい、甘い物、</li> <li>・シカ肉の燻製、チーズ、乳製品、卵、豆腐、珍味（昔あった）、かに味噌、お酒、お肉</li> <li>・花</li> <li>・たばこ</li> <li>・サイドメニュー（揚げ物など）、アイス、コーヒー、パンの種類、ホットドック、コーヒーショップ、きのこ汁食べたい、ソフトドリンクが少ない、軽食</li> <li>・食事、食堂、壮瞥の名物（ランチ）、ご飯がない、食事場を統一してほしい</li> <li>・コンビニみたいにしてほしい、座る席などを増やしてほしい、日陰ベンチ、席が少ない、子どもの遊び場、品数が少ない（多くしてほしい）、値段が高い（安くしてほしい）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元のもの、市の特産品、土地の食べ物、地元の名産品、ここでしか買えないもの、北海道のお土産</li> <li>・自然系、きのこ、山菜</li> <li>・ブルーベリー、リンゴ、ブドウ、ハチミツ、</li> <li>・ソフトクリーム、ヨーグルト等の値段が高い</li> <li>・カップカフェオレ（自販機ではない）オリジナルの食べ物、テイクアウト、ピザ</li> <li>・ガラス細工、きのこ王国にあるもの、日持ちするもの</li> </ul>
-------	--	---

# 道の駅における利用者の移動実態

【利用者実数ベース】

壮警:道の駅情報館  
 実施日:2016/8/6  
 ヒアリング数:171件

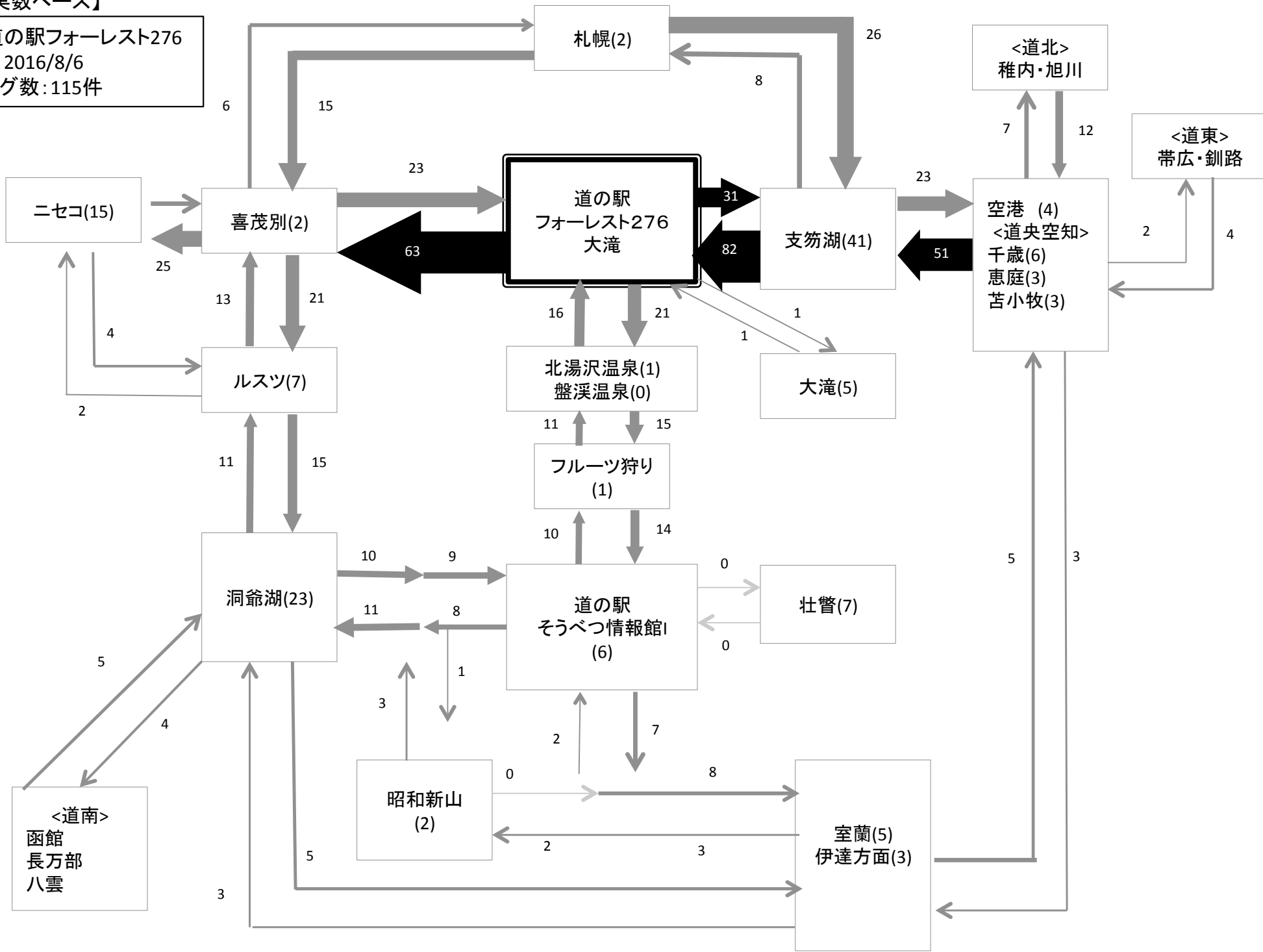




# 道の駅における利用者の移動実態

## 【利用者実数ベース】

大滝:道の駅フォーレスト276  
実施日:2016/8/6  
ヒアリング数:115件





## 10/8 調査結果概要

・道の駅別の主要設問ごとの回答傾向は以下のとおり。

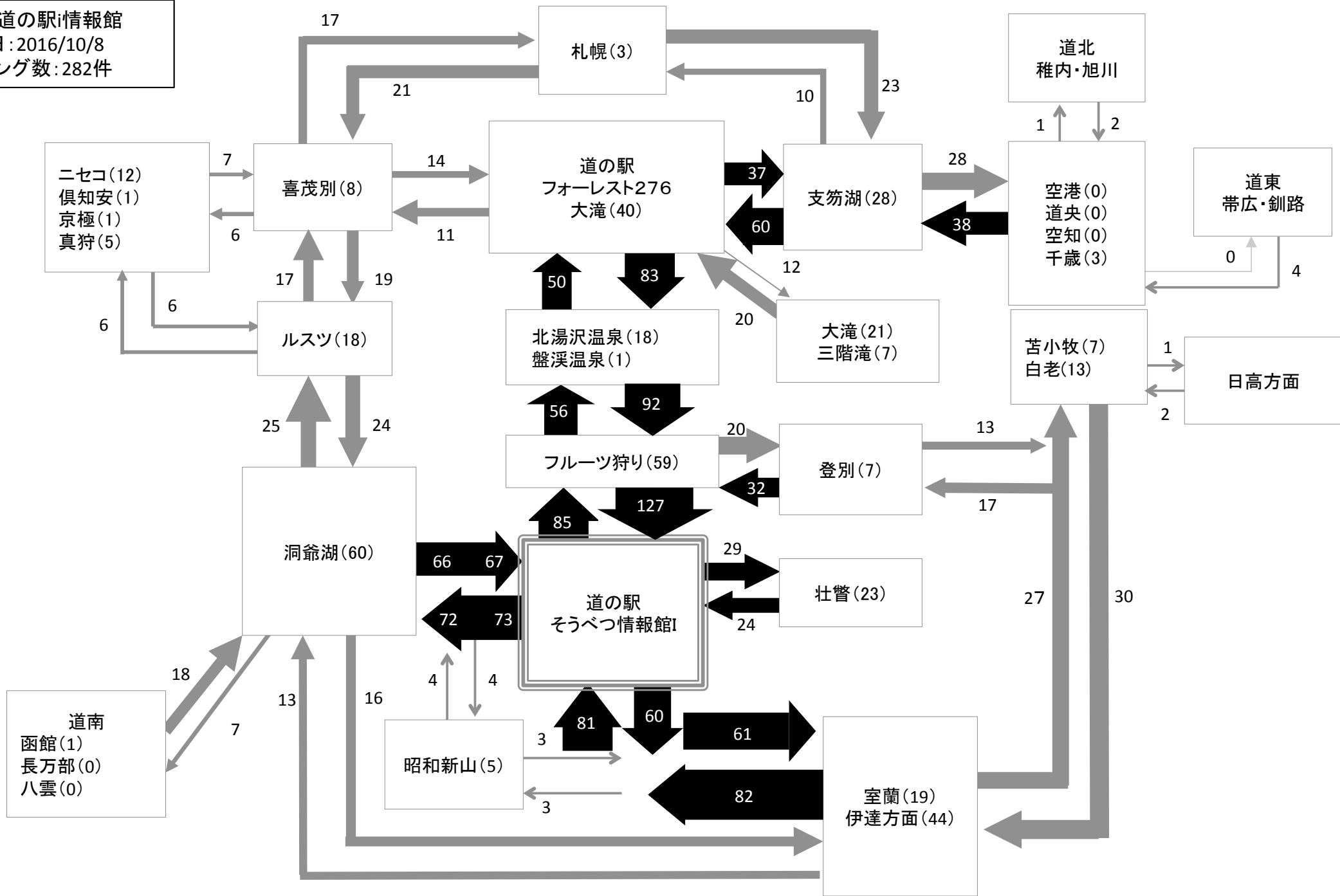
	壮瞥	大滝
ルート	支笏湖⇄道の駅 札幌、白老・苫小牧⇄道の駅 洞爺湖⇄道の駅	札幌・支笏湖経由⇄道の駅 喜茂別方面⇄道の駅 壮瞥⇄道の駅 空知・支笏湖経由⇄道の駅
出発地	①室蘭 ②札幌 ③苫小牧	①札幌 ②苫小牧 ※以下広域にわたる
到着地	①室蘭 ②苫小牧 ③札幌	①札幌 ②ニセコ ③洞爺
目的地	①壮瞥 ②道の駅 ③洞爺湖	①ニセコ ②北湯沢・洞爺 ※以下広域にわたる
目的内容	①フルーツ狩り ②観光 ③温泉	①観光、温泉、ドライブ
回数	①5回目以上 ②1回目	①5回目以上 ②1回目
立寄目的	①お土産 ②トイレ休憩 ③買い物(夕飯)	①トイレ休憩(65%)
購入物	①直売野菜(54%)	①直売野菜 ②お土産 ③ランチ
支払金額	①2,000円以上 ②1,000～2,000円 ③500～1,000円	①0円(56%)
在住場所	①室蘭 ②苫小牧 ③札幌	①札幌 ②千歳、苫小牧 ※以下広域にわたる
入口調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭が多く、次いで札幌</li> <li>・時間帯による差は見受けられず</li> <li>・左折・右折もそこまで差が出ず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌→バイクの順に多い</li> <li>・昼にややピークあり</li> <li>・左折が圧倒的に多い</li> </ul>
販売等希望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の商品、ここでしか買えない物。壮瞥特産のお酒、記念グッズ、バッチ。特産品</li> <li>・りんご商品、ナスのりんご漬け。</li> <li>・漬物。キュウリのピリ辛漬け。農家の漬物。</li> <li>・ゆできび、きのこ、根菜、ごぼう、人参、トマト、豆類、とうきび、もっと野菜を多く。トマトをたくさん。野菜の種。</li> <li>・果物、くるみ</li> <li>・かき氷</li> <li>・インスタントスープ、お弁当、軽食、パン、ラーメン。食事どころ。食事スペース。カフェ。そば、つめたいもの。イートイン、食べ物屋さん。甘いもの。</li> <li>・アップルパイ、アイス、ジャム、あかねのリンゴジュース。落ちりんごジャム、スイーツ。珈琲。</li> <li>・マスク、筆記用具、絆創膏、湿布</li> <li>・花。切り花。園芸肥料</li> <li>・種類多く。充実していて高くない物。日持ちする加工品</li> <li>・水がくめたらいい</li> <li>・手の汚れない軽食</li> <li>・足湯、子供用のトイレ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その土地のもの。きのこの特産品。地元のもの。アロニアを使ったもの。日持ちのするもの。</li> <li>・パン、あげいも、軽食、お菓子、眠気覚しのお菓子、おにぎり。ソフトクリーム、珈琲、プリン。15個以上入っているお菓子、牛乳。飲み物。</li> <li>・安いきのこ、きのこの瓶詰め。</li> <li>・遊具</li> <li>・品数が少ない。珍しいもの。</li> <li>・果物、いちご酢</li> <li>・箱詰めのキタアカリ</li> </ul>



# 道の駅における利用者の移動実態

【利用者実数ベース】

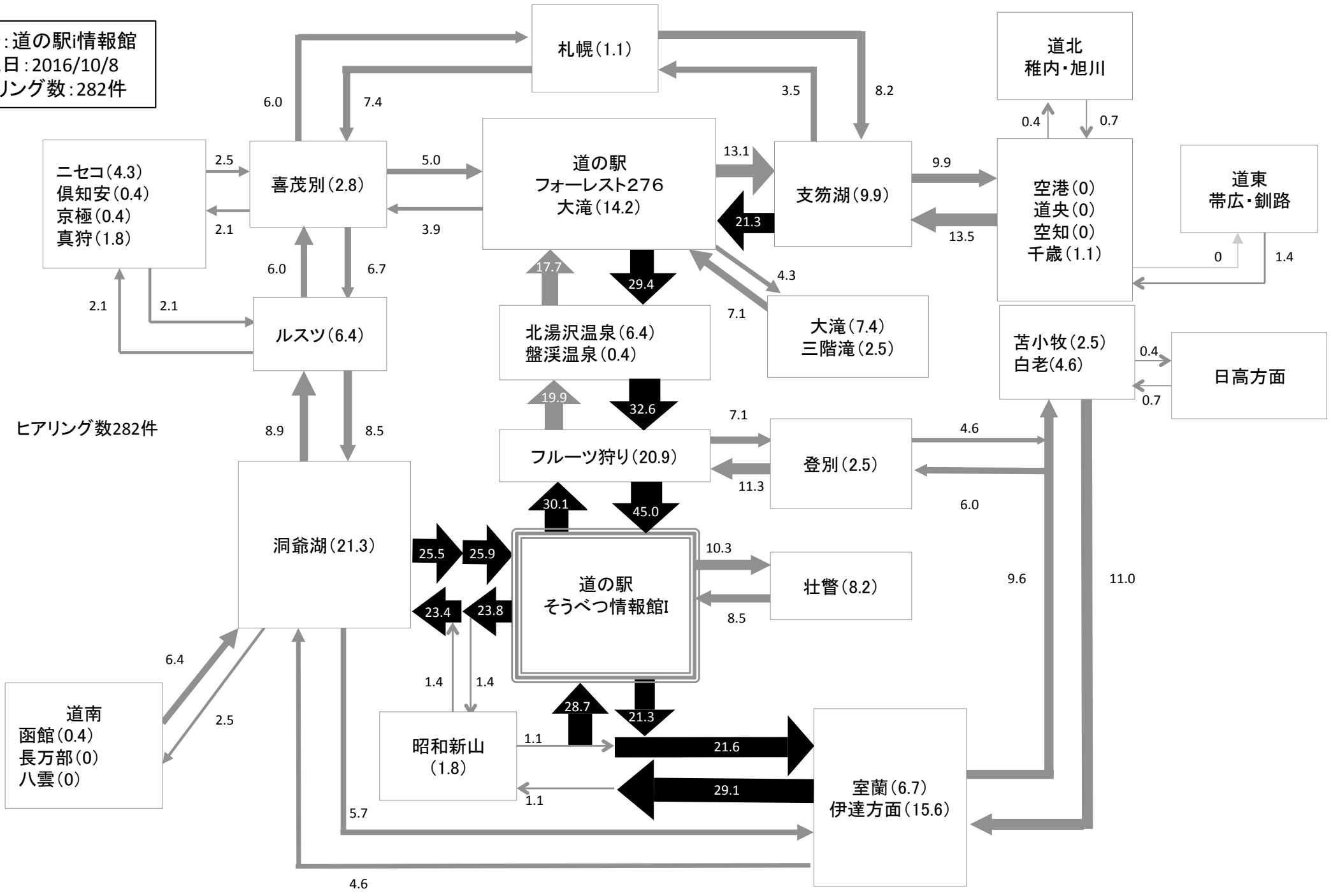
壮警:道の駅情報館  
 実施日:2016/10/8  
 ヒアリング数:282件



# 道の駅における利用者の移動実態

【利用者全体に対する割合ベース(%)】

壮警:道の駅i情報館  
実施日:2016/10/8  
ヒアリング数:282件



6.0

7.4

札幌(1.1)

3.5

8.2

道北  
稚内・旭川

0.4

0.7

ニセコ(4.3)  
倶知安(0.4)  
京極(0.4)  
真狩(1.8)

喜茂別(2.8)

2.5

5.0

道の駅  
フォレスト276  
大滝(14.2)

13.1

9.9

空港(0)  
道央(0)  
空知(0)  
千歳(1.1)

9.9

13.5

道東  
帯広・釧路

0

1.4

2.1

3.9

21.3

4.3

ルスツ(6.4)

2.1

2.1

6.0

6.7

北湯沢温泉(6.4)  
盤渓温泉(0.4)

17.7

29.4

大滝(7.4)  
三階滝(2.5)

7.1

苫小牧(2.5)  
白老(4.6)

0.4

0.7

日高方面

ヒアリング数282件

8.9

8.5

フルーツ狩り(20.9)

19.9

32.6

7.1

4.6

登別(2.5)

11.3

洞爺湖(21.3)

25.5

25.9

10.3

壮警(8.2)

8.5

道の駅  
そうべつ情報館I

6.0

9.6

11.0

道南  
函館(0.4)  
長万部(0)  
八雲(0)

6.4

2.5

1.4

1.4

28.7

21.3

1.1

21.6

1.1

29.1

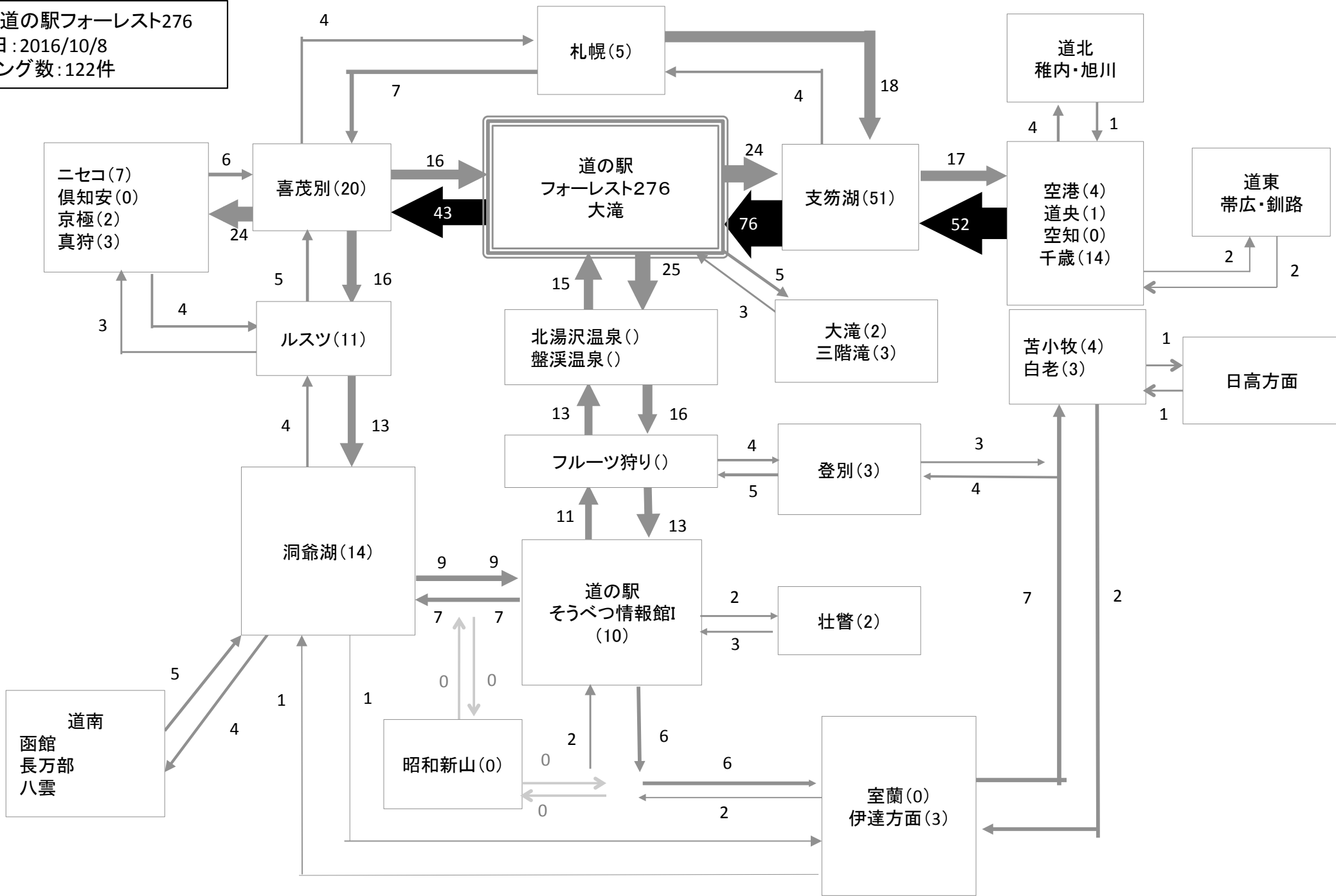
室蘭(6.7)  
伊達方面(15.6)

4.6

# 道の駅における利用者の移動実態

【利用者実数ベース】

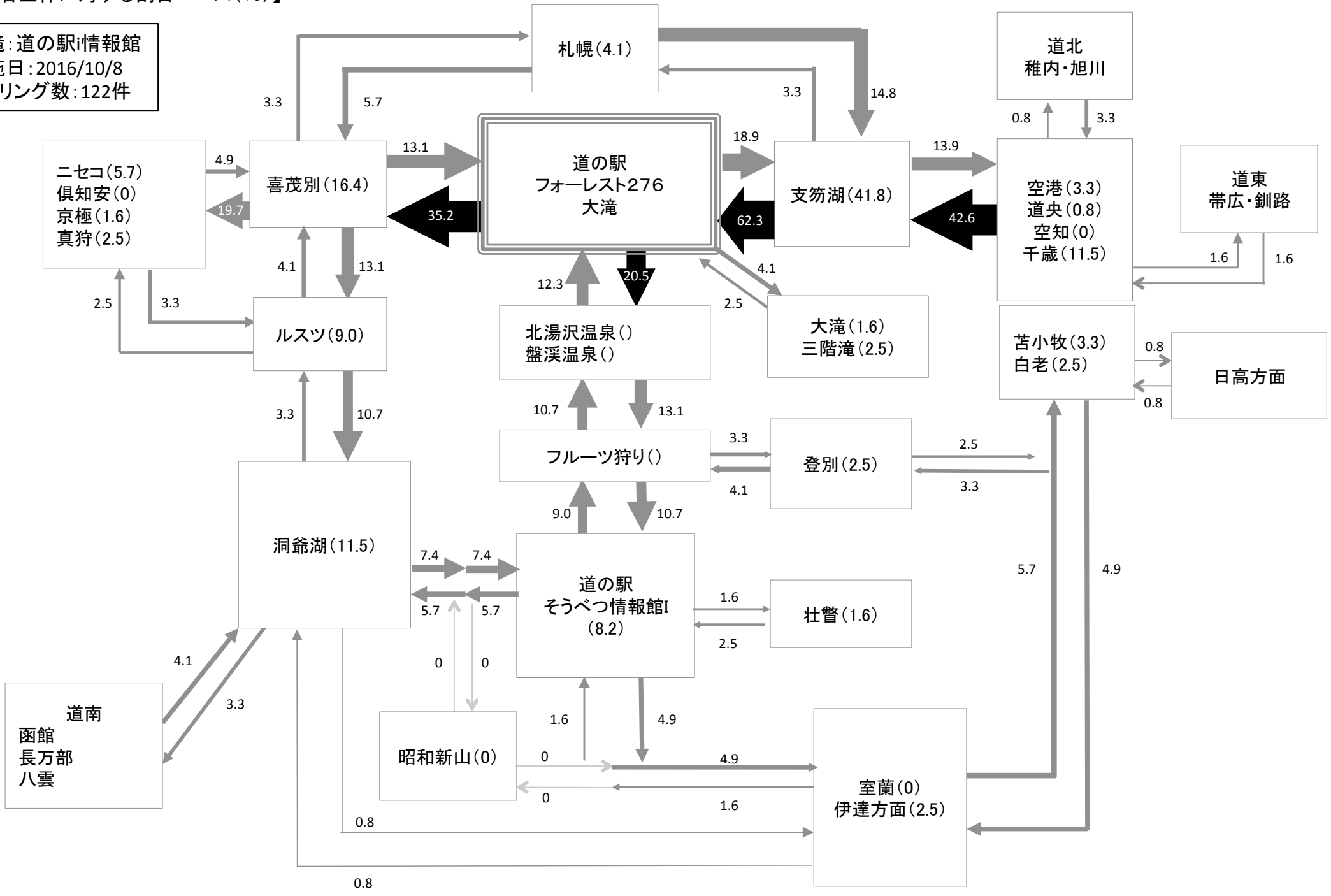
大滝:道の駅フォーレスト276  
 実施日:2016/10/8  
 ヒアリング数:122件



# 道の駅における利用者の移動実態

【利用者全体に対する割合ベース(%)】

大滝:道の駅情報館  
実施日:2016/10/8  
ヒアリング数:122件



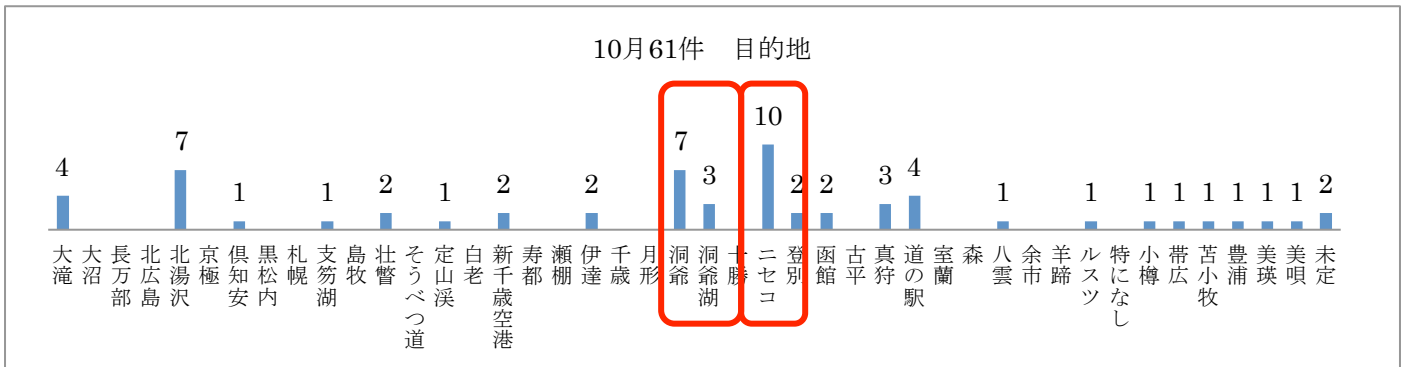
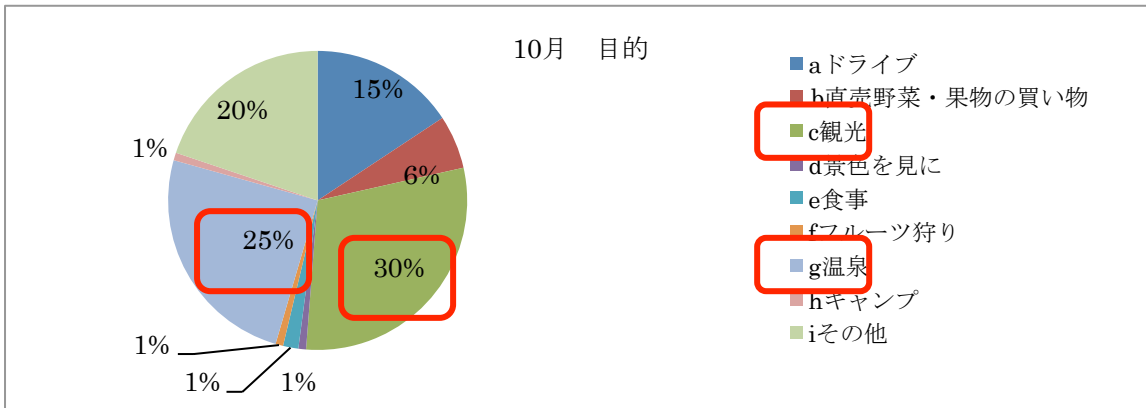




●パターン3 【Cルート】大滝：道央圏・道外圏～ニセコ・洞爺湖

- ・目的地に洞爺、ニセコが多い。片道ルートのみ太いため宿泊利用とみられる。
- ・目的内容で観光、温泉が多い

→宿泊を伴う観光消費



資料：道の駅における利用者の移動実態（ルートマップ式）

1) 利用者実数ベース（件）

- ・ 矢印色表記 黒：30件以上 グレー：29件以下
- ・ 矢印数値 本日の移動ルート（予定を含む）
- ・ 四角枠の地名（）数値 立ち寄り件数（件）

2) 利用者全体に対する割合ベース（%）

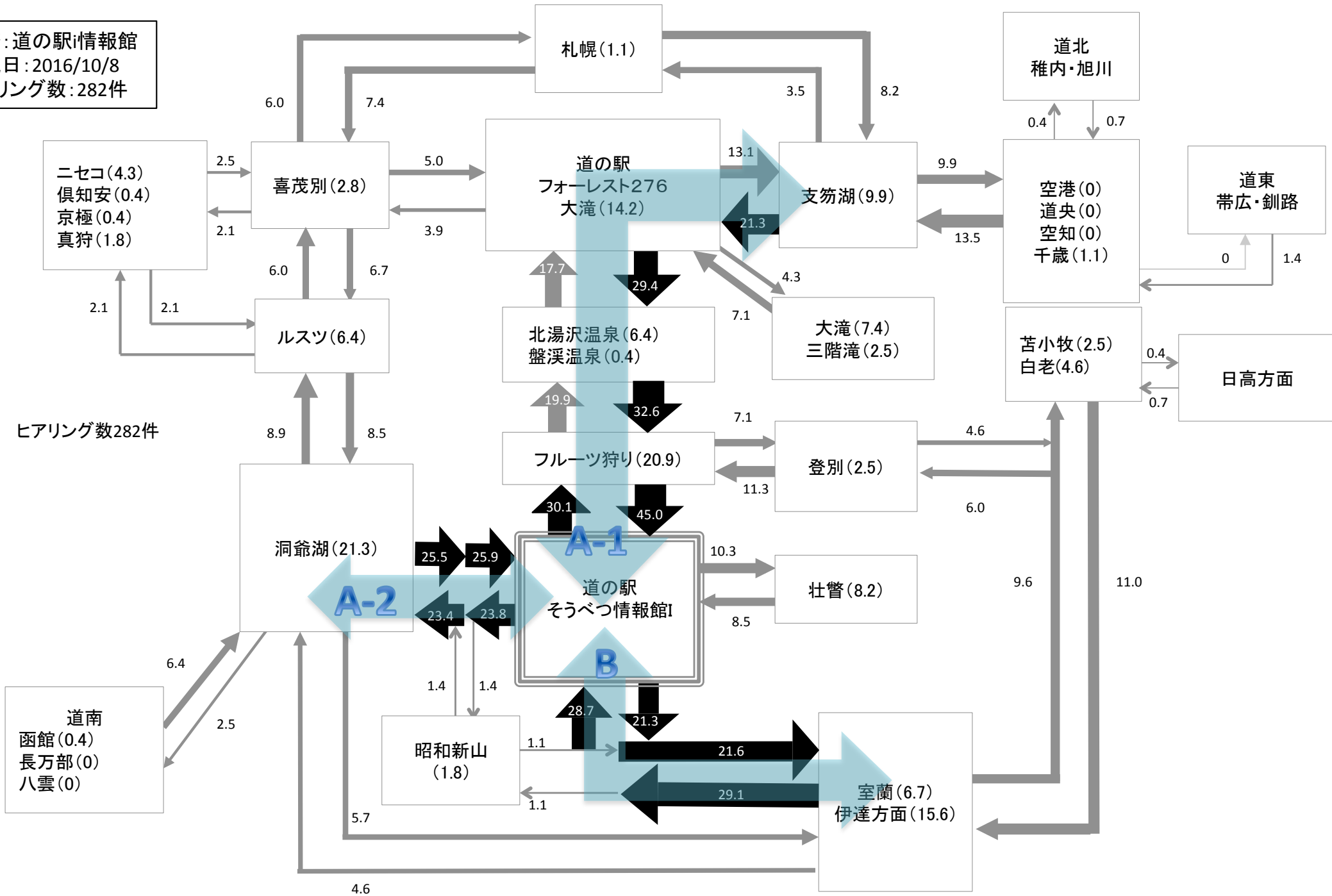
- ・ 矢印色表記 黒：20%以上 グレー：19%以下
- ・ 矢印数値 ヒアリング数に対する割合（%）
- ・ 四角枠の地名（）数値 ヒアリング数に対する、立ち寄り割合（%）

※小数点第2位四捨五入

# 道の駅における利用者の移動実態

【利用者全体に対する割合ベース(%)】

壮警:道の駅i情報館  
実施日:2016/10/8  
ヒアリング数:282件







## (2) パターン別の事業機会と潜在売上規模の検討

### ■移動ルートパターン別の潜在売上規模をルートポテンシャル（年間）として算出

ルート：主要3ルート ※前ページのルート参照

通過率：アンケート集計より、利用者全体に対する通過割合（10月数値参考）

通過数＝来館者数×通過率

ルートポテンシャル＝通過率×客単価

潜在売上規模＝ルートポテンシャルの潜在売上率30%

年間数	観光客入込数	来館者数	購入者数	客単価	潜在売上率
壮瞥：情報館 i	1,683,100	496,920	185,367	551	約30%
大滝：フォーレスト 276	-	210,000	-	(全国平均値) 500	-

※算出基準（平成25年度資料より）

### ●パターン1

#### 【Aルート】壮瞥：道央圏～大滝～壮瞥道の駅～洞爺湖

最もルートポテンシャルの高い「A-1ルート」は潜在売上を効果的に上げる、**最重点ルート**となる。

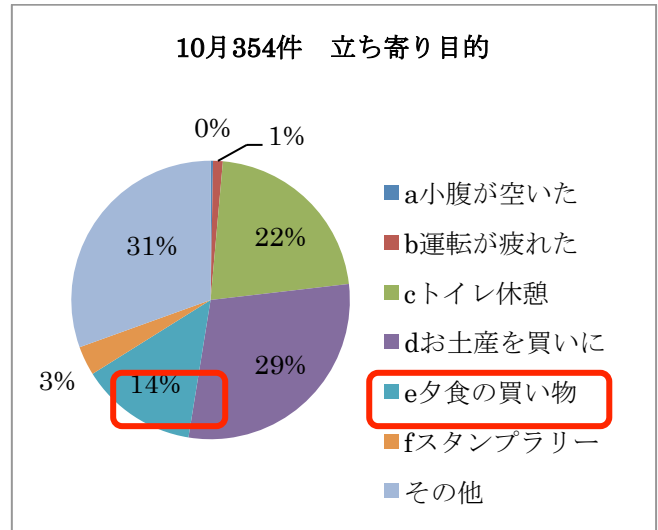
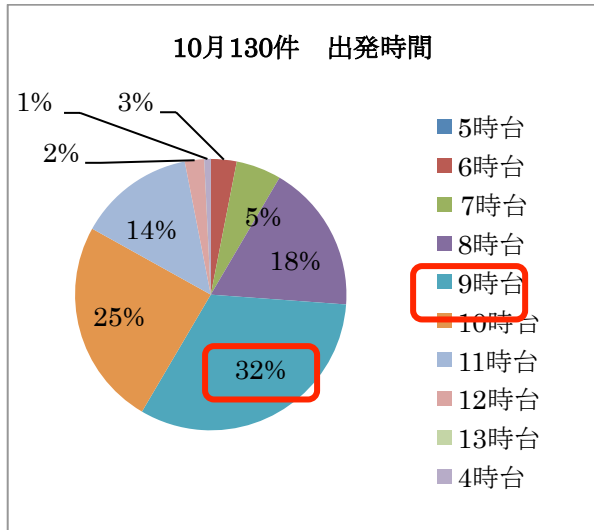
売上の可能性→**潜在売上規模：約6千万円**

#### ① ランチ利用

- ・出発時間9時台が多く、道央圏からの利用者がお昼頃道の駅を訪れる。

#### ② 満足度の充実のため、ランチ需要の充実

- ・夕飯の買い物需要がある



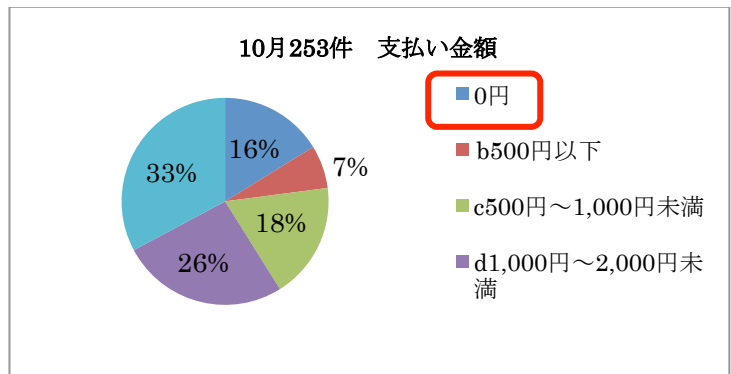
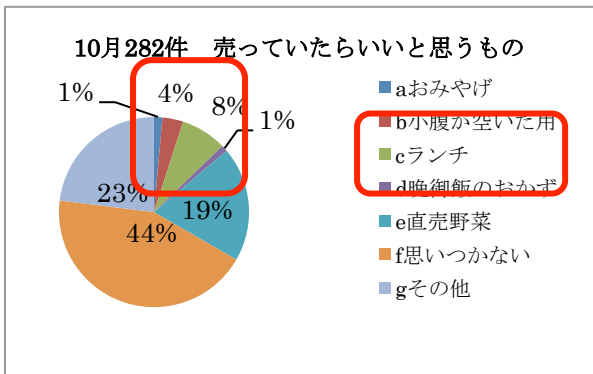
ルート名		通過率	通過数	ルートポテンシャル	潜在売上規模
A-1ルート	IN	45%	223,614	¥205,352,190	¥61,605,657
	OUT	30%	149,076		
A-2ルート	IN	29%	144,107	¥136,901,460	¥41,070,438
	OUT	21%	104,353		

●パターン2

【Bルート】 壮警：伊達・室蘭～壮警道の駅

売上の可能性→潜在売上規模：約4,1千万円

- ① 早朝出発組→昼食もしくは帰り道のテイクアウト利用
- ② ランチ需要
  - ・ 日常消費目的のため、日帰り圏内を想定
  - ・ 簡単に食べることができるテイクアウト商品のニーズあり
  - ・ 支払い金額0円の来館者に対するのアプローチ



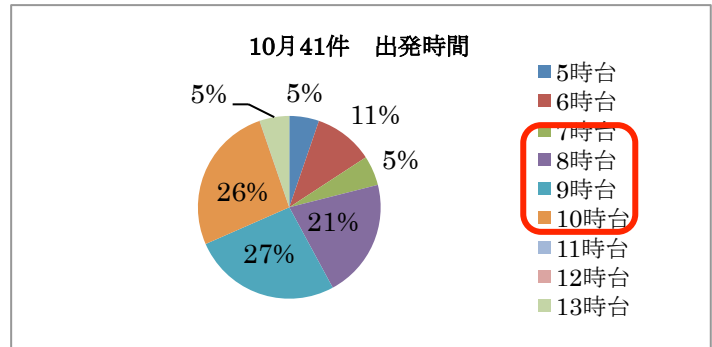
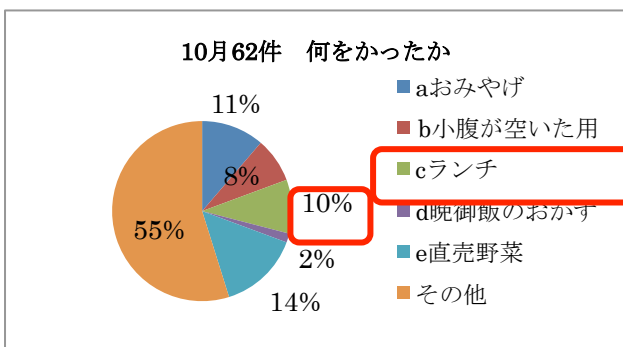
ルート名		通過率	通過数	ルートポテンシャル	潜在売上規模
Bルート	IN	26%	129,199	¥136,901,460	¥41,070,438
	OUT	24%	119,261		

●パターン3

【Cルート】 大滝：道央圏・道外圏～ニセコ・洞爺湖

売上の可能性→潜在売上規模:C-1ルート約1.6千万円・C-2ルート約2.1千万

- ① ランチ利用の充実
- ② テイクアウト需要の充実
  - 出発時間が8、10時（74%）に集中している。札幌、新千歳から出発するひとたちの昼食利用。
- ③ 地元特産品おみやげの充実



ルート名		通過率	通過数	ルートポテンシャル	潜在売上規模
C-1ルート	IN	13%	27,300	¥55,540,800	¥16,662,240
	OUT	35%	73,500		
C-2ルート	IN	47%	98,700	¥71,740,200	¥21,522,060
	OUT	15%	31,500		

### (3) 売上向上に資する対策・課題等の洗い出し

#### ① 既存ポテンシャルを生かした売上向上

確実に人を呼び込む為、各ルート上に求められる、今ない機能をつくる業態開発を行い、利用者の満足度をあげてリピート率強化と新規来場者の増加をはかる。

##### a) 道の駅の満足度強化

- ・ 壮瞥は直売野菜の購入目的でお昼の時間帯の来場者が多いが、ランチ提供がないため需要を取りこぼしている。ランチのニーズ対応が必要。

直売野菜購入目的とした来館者を対象にテイクアウト商品の提供。

- ・ 大滝は壮瞥道の駅とは目的が異なり、観光地の通過点となっている。ランチ利用の充実を行い、立ち寄り施設を目指す。
- ・ 壮瞥-大滝道の駅間（A-1 ルート）最重要ルートとしてルートポテンシャルが高いため、道の駅満足度の強化は重要と考えられる。※潜在売上規模約6千万円。

##### b) 午後の来館者の強化

直売野菜を主力としている道の駅では、午後の商品不足や収穫の閑散期の対応が難しい。通年、時間を問わずに販売できる商品によって、午後に向けても来館を促す。  
夕方ニーズ対策

#### →ランチ、テイクアウト需要への対策

#### ② 新たな消費流動の呼び込み

##### a) 最重点ルート：「壮瞥-大滝」道の駅間

特に北湯沢から壮瞥道の駅までのルートと、ニセコ経由「壮瞥-大滝」ルート  
ルートポテンシャルから算出した潜在売上規模約6千万円

##### b) 魅力的な拠点づくり

観光客を誘導するための目玉になる機能（観光施設・立ち寄り施設）、  
観光のルート選択をさせるため観光施設。  
道外からの観光ニーズ対策。  
地元利用から、観光客の取り込みを行う。

##### c) 新たな回遊ルート

- ・ 道外者・千歳空港方面から大滝を経由してニセコへ通過しているルートに対して、壮瞥経由の新ルートを確立するために、新たに拠点を つくる  
壮瞥方面へ迂回するドライブルートを目指す
- ・ 一箇所に集約するか、分散してドライブの回遊が楽しめるルートにする。